

令和元年度独立行政法人自動車技術総合機構調達等合理化計画自己評価資料

重点的に取り組む分野

内容	評価	
<p>(1) 審査上屋における改修等工事に関する調達</p> <p>平成 30 年度については、前年度に対して一者応札割合が増加した。令和元年度においても、引き続き新たな事業者の参画を促進するため、入札情報を機構のホームページの他、業界誌への掲載依頼を行う等あらゆる周知ツールを活用するとともに、公告期間の延長を行う。また、更なる一者応札割合の改善を図る。</p> <p>【令和元年度の取組】</p> <p>入札情報を当機構のホームページのみではなく、あらゆる周知ツールを活用し、新たな事業者の参画を発掘することに努める。</p> <p>評価指標（競争契約に占める一者応札割合）</p>	<p>一者応札件数</p> <p>平成 30 年度 19 件</p> <p>令和元年度 14 件</p>	<p>競争入札全体に占める割合</p> <p>平成 30 年度 (35%)</p> <p>令和元年度 (34%)</p> <p>→令和元年度については、前年度に対して競争契約に占める一者応札割合が僅かに減少した。</p> <p>入札情報を機構のホームページの他、業界誌への掲載を行う等の周知を徹底し、公告期間についても当機構の規程する期間より多くの期間を確保したことにより、透明性が確保され仕様書を受領する事業者が増加した。</p> <p>引き続き適切に調達を実施すべく、業界誌への入札情報掲載等、入札情報の周知徹底を図っていくとともに、応札者への聴取等により、更なる要因分析を行い対応について検討していく。</p>
<p>(2) 共同調達の拡大</p> <p>平成 30 年度については、交通安全環境研究所に隣接する研究機関と共同して、前年度に引き続き、コピー用紙の購入や電気設備の保守業務に関する共同調達を実施し、事務処理の効率化を図った。令和元年度においても、引き続き共同調達を実施するとともに、他の契約についても共同調達の拡大を検討する。</p> <p>評価指標（共同調達の実施件数）</p>	<p>共同調達件数</p> <p>平成 30 年度 3 件</p> <p>令和元年度 4 件</p> <p>→隣接する他の研究機関と交通安全環境研究所において、昨年度に引き続き共同調達が実施されており、令和元年度においては新規案件として、「東京都環境確保条例コンサルティング業務」を実施したことにより調達件数が 1 件増加した。</p> <p>令和 2 年度においても引き続き、共同調達の拡大を検討していく。</p>	